

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和6年2月20日

事業所名: ホーム松が丘

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	事業所開設。時に十分な広さの物件を確保しました。	はい 100%	
	2 職員の適切な配置	児童利用希望に基づいたスタッフのシフトを作成しています。	はい 84%      どちらともいえない16%	引き続き必要な人員配置を維持し支援を行っていきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	移転した際に環境整備を行ったが、随時支援で変更したほうが良い点は話し合い環境を整えるようにしている。	はい100% ・スロープやエレベーターがあり移動しやすい環境になっている	引き続き、利用児童に合わせて環境整理をしていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の活動終了後に清掃と消毒を行っています。	はい100% ・好きな絵本や音楽を聴いたり散歩もできている	引き続き、消毒の徹底と室内環境を整えていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	月に2回ミーティングを行い、年2回保護者会を行っています。		今後も目標を設定し、毎日やっていきたい。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	本部と連携し、体制作りを進めています。		今後本部と連携を進めていく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	虐待研修年2回、内部研修年2回		引き続き研修を行う
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	月2回のミーティング時にモニタリングを行い、職員全員で協議・計画の見直しを行っています。		引き続きスタッフで共有し、支援を行っていく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者からの悩みなども聞き取り、個々の個性に合わせた支援計画書を作成しています。		引き続きスタッフで共有し、支援を行っていく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	月2回のモニタリングをし、利用児童に合わせた支援内容を記載しています。		引き続きスタッフで共有し、支援を行っていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	毎月、創作活動を提供しています。		引き続きスタッフで共有し、支援を行っていく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	創作活動の内容やレクリエーションの内容をスタッフ間で共有し、意見交換を行い見直しを図っています。		引き続き充実したプログラムになるよう十分に話し合いを行う。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	外出レクリエーションを計画し、スタッフ間で話し合いを行っています。		引き続きスタッフ間で共有し、支援を行っていく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節の行事を取り入れ提供しています。		引き続きスタッフ間で共有し、支援を行っていく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	月2回のミーティングを行い、支援の内容について話し合いをしています。		引き続きスタッフ間で共有し、支援を行っていく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	その日の記録を記入しながら気になったことを話し、情報共有をしています。		引き続きスタッフ間で共有し、支援を行っていく。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	活動後に記録を記入している。スタッフ全員で共有し、支援方法等を話し合っている。		引き続きスタッフ間で共有し、支援を行っていく。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	毎月2回のミーティングを開催しスタッフ全員で協議の上随時見直しを行っている。		引き続き穏やかな聞き取りを行い個々の利用児童に合わせた計画書を作成していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	個々の利用児童の療育状況を把握の上、担当者会議議事録や活動記録を保持して参加している。		引き続きスタッフで共有し、支援を行っていく。
	2 <b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	保護者との情報の共有を行っています。		
	3 <b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	保護者との情報の共有を行っています。		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	相談支援専門員の方、支援学校の担任の先生など情報共有しています。		今後も取り組んでいきたい。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、			今後円滑な移行支援に関して学びを深めていきたい。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	随時、スタッフに研修内容を掲示し、できるだけ研修に参加するように促している。		今後積極的に参加していきたい。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在交流の機会はありません。	はい32% わからない68%	今後計画し取り組んでいきたい。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営			今後計画し取り組んでいきたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援に関して、当日連絡帳で伝えています。利用負担は契約時に受給者証を見ながら説明しています。	はい100%	引き続きスタッフ間で共有し、支援を行っていく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	モニタリング時に保護者と話し合い説明を行っています。	はい100%	引き続きスタッフ間で共有し、支援を行っていく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		はい50% いいえ32% わからない18%	
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や送迎の際に保護者から話を聞いたり事業所での様子を伝えている。	はい100% ・送迎時に伝えてくださったり連絡帳を丁寧にたくさん書いてくれる	引き続きスタッフで共有し支援を行っていく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時に保護者とコミュニケーションをはかり、悩み事を聞いた際はスタッフ間で話し合い、支援内容を見直しています。	はい64% わからない36%	引き続きスタッフで共有し支援を行っていく。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	年2回保護者会を行っています。コロナで今は中止しています。	いいえ32% わからない68%	コロナの影響により開催を中止していることをお伝えしていく。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情対応の体制は整えています。	はい68% わからない32%(苦情が特にない為)	苦情があった際は、職員間で情報共有し、迅速に、真摯に対応していく。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	電話や連絡帳に記入したり、送迎時に口頭で伝えるようにしています。	はい100%	引き続き丁寧に行っていきたい。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	インスタグラムで活動の様子を毎月掲載しています。また、写真や動画を保護者にお送りしています。	はい100% ・写真を送ってくれ様子が見れて嬉しい	引き続き行っていきたい。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報について契約時に説明しています。個人情報は鍵付き書庫で保管しています。	はい100%	今後も充分に取り扱いを注意していきたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルを作成し、年1回の見直しを行い掲示しています。	はい84%    わからない16%	今後も見直しを行い、改正を行った際は保護者への配布も行っていく。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回、7月と1月地震、火災と避難訓練を行っています。	はい64%    わからない36%	職員だけの訓練も行っていきたい。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年2回虐待研修を行っています。		年2回を引き続き行っていく
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在、身体拘束が必要な利用児童はいない。身体拘束に関して、契約時に保護者に説明しています。		必要な場合は事前に保護者に確認を行い、書面でも内容確認を出来るようにする。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	現在、指示書が必要な重度のアレルギーがある利用児童はいません。		重度のアレルギーがある利用児童の場合は医者からの指示書をもらい、関係機関と連携していく。また、看護師・スタッフ間でも共有する。軽度の利用児童であっても食べ物摂取時は複数のスタッフで確認を徹底する。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットを作成し、MTG時にスタッフに共有・周知しています。		日々の清掃時に破損箇所等が無いかの確認を行っています。